



自分の声でインターネットにアクセスする「Vポータル」。簡単に言えば、0570-0033-03に電話をかけて、インターネット上にある音声ファイルを、「はい」や「いいえ」という声で操作しながら楽しむというものだ。そして、この新しいメディアVポータルは、今まさにインターネット黎明期のような様相を呈し、さまざまなVポータル専用コンテンツが生まれようとしているのだ。ただし、そこは新しいメディア。まだ、誰もどのようなコンテンツがキラコンテンツになるのか、正解をつかめないでいる混沌とした状況だ。ここVポータル企画道場では、そのようなカオスの世界にあえて身を投じる、勇気ある「道場破りたち」を紹介していく。

Vポータル企画道場!

自分でコンテンツを作っ てはダメ!

「コンテンツ制作にはお金がかかりすぎる。僕らのような小規模な会社ではなかなか手が出せない。だからコンテンツを作っちゃダメ!」。「Vポータル企画道場」ではVポータルコンテンツ制作者たちの、汗と涙の制作ストーリーを伝えていくはずだったのだが、今回の「道場破り」コンテンツバンクの企画制作部長、浅川和良さんはいきなりこう切り出した。

コンテンツバンクはインターネットを通じて配信される各種デジタルコンテンツの取引仲介をおもに行っている。つまり、コンテンツホルダーと、コンテンツがほしい配信事業者などの橋渡しをする会社なのだ。もちろん、ただコンテンツを右から左に流しているだけでなく、配信事業者それぞれのプラットフォームに応じてコンテンツをカスタマイズしたり、コンテンツに関する権利処理をしたりといった付加価値を与えて、配信事業者が望むコンテンツを提供している。まさに「ウチはコンテンツは作っちゃダメ!」という考えに裏打ちされた事業形態なのだ。

今月の道場破り!

【株式会社コンテンツバンク】

「5000以上のコンテンツを提供できる!」が、同社最大の武器。日本で数少ない「コンテンツエージェント」的なリーディングカンパニー。

営業担当

小林雅弥さん
現在、某携帯電話キャリアに就任中。携帯キャリアとコンテンツプロバイダーの橋渡しを担当。

**シニアディレクター
渡部亜希子さん**
おもに各コンテンツプロバイダーとコンテンツ提供に関する交渉を担当。



コンテンツ ディレクター

島村涼さん
Vポータルコンテンツのディレクター&制作担当。現在、Vポータルエディターを使って、コンテンツを制作中。

**社員にしてパピヨンの
マイちゃん。** コン
テンツバンクの受付
とPRを担当。

取締役、企画制作部長

浅川和良さん
ラジオ番組制作のキャリアを持つ、コンテンツバンクVポータル制作チームのトップ。5分に1回駄洒落を飛ばす。

コンテンツプロデューサー

宮澤 孝さん
Vポータルコンテンツに限らず、コンテンツの営業から制作までなんでもこなしてしまう頼れるやつ。ついでに犬の世話も担当!

提供できるコンテンツは5000以上!

「コンテンツを“作らず”に“集める”方法はVポータルというプラットフォームでもかなり効果的だと思いますよ」とは前出の企画部長、浅川さん。コンテンツバンクでは常時約5000以上のコンテンツが集められていて、アイドル、芸能、音楽、アニメ、映画といったエンターテインメント系から、教育、ビジネス系までオールジャンルを取り揃えている。浅川さんは「これらのコンテンツのなかで“音声”コンテンツになるとおもしろいものは何か、それを見極めながらコンテンツをVポータル用にカスタマイズしていけば、かなりの数のコンテンツをVポータル上で展開できます。僕は新しいプラットフォームが成功するための第1フェーズはコンテンツの質より量だと思っている。コンテンツの量が増えて、“Vポータルにアクセスすれば、何かしら自分に合ったコンテンツがある”とユーザーに思わせれば、成功に近づいていると言っていいでしょう」と、Vポータルで“コンテンツを集める”という方法の有

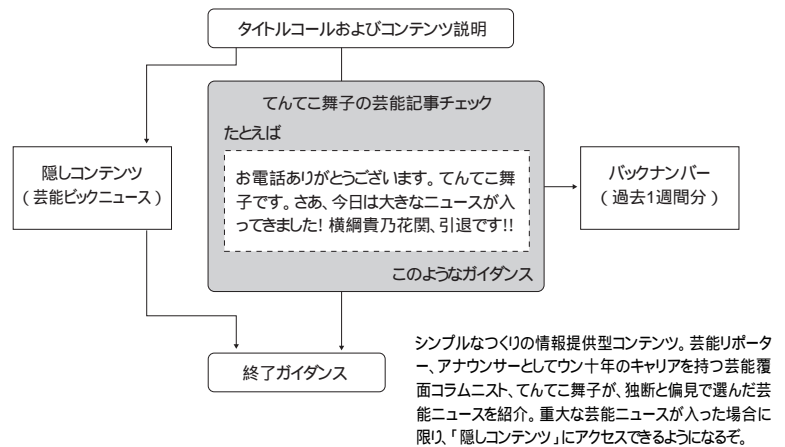
効性を説明してくれた。

では、コンテンツバンクが提供しているVポータルコンテンツ『Ennyの「パワーアップフォーチュン」』（1182）『てんてこ舞子の「新聞縦断! 芸能記事チェック!!」』（1015）『藤岡弘、の「人生塾」』（2041）『井上喜久子の名作読み聞かせ』（1008）を参照、コンテンツの横にある4桁の番号をプッシュボタンで入力して、コンテンツを

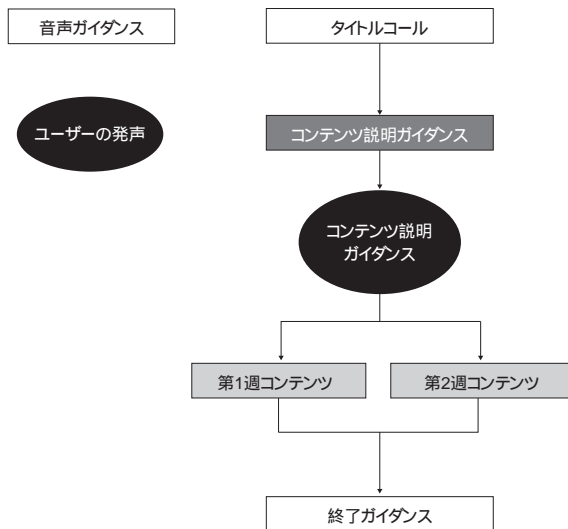
聞くこともできる」などはすべて、コンテンツバンクが「これはVポータルに向いている」と見極めて、既存のコンテンツをカスタマイズしたものであるのだろうか?

「いや、実はこれらはゼロから自社制作なんですよ……」というのは、制作を担当している島村涼さん。「僕らがVポータルに参入したのは、今年の1月から。まずは、自社で制作してみてVポータルに適したコンテンツ

てんてこ舞子の「新聞縦断! 芸能記事チェック!!」コールフロー

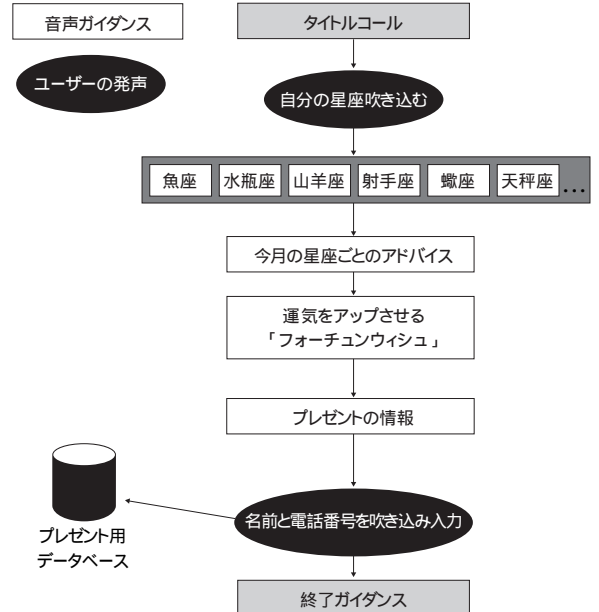


藤岡弘、の「人生塾」コールフロー



男の中の男、藤岡弘、が毎週気になったニュースをひとつ取り上げそれについて、意見や感想を熱く語るコンテンツ。フローはきわめてシンプル。ただ、コンテンツの中身は原稿なしのフリートークになっていて、熱い藤岡弘、のキャラクターを十分に活かしたコンテンツになっている。

Ennyの「パワーアップフォーチュン」コールフロー



ニッポン放送「ウラナイ!」の火曜レギュラーをはじめさまざまな媒体で占いを担当するEmmyこと弦工ニシによる占いコンテンツ。星座ごとの占いが聞けるだけでなく、運勢が良くても悪くても、運勢をUPさせる「おまじない」が聞ける。そのほかコンテンツを聞くことでプレゼントが当たるチャンスもあるコンテンツだ。

はどのようなものかを検証する時間がほしかった。そこを検証していないと、既存のコンテンツを見ても、Vポータルに向いているかどうか分からないし、自分たちにしっかりと制作ノウハウがなければ話になりませんから」と言う島村さんは現在、Vポータルコンテンツが簡単に作れる「Vポータルエディター」を使ってこれらのコンテンツを作り出している。

ラジオ時代の「ノウハウ」をフル動員

「Vポータルにどのようなコンテンツが向いているかを検証するため」と言っても、ただ闇雲にコンテンツを作っていたわけではない。そこにはコンテンツバンクの音声コンテンツに対するこだわりが込められて

いた。浅川さんは「正直に言って、まだどのようなものがVポータルに適しているかはわかりません。でも、どうしても最良の“音声コンテンツ”ができるかはわかっているつもりです」と言うが、その自信は彼が長年ニッポン放送でキャリアを積んできた“音声コンテンツのプロ”だという事実裏打ちされている。

「ラジオでもそうなのですが、『はい、みなさん!』と呼びかけてはダメなんです。『はい、ラジオの前のあなた!』と、個人に呼びかけるのがラジオの鉄則。うちのVポータルコンテンツはこのような“ユーザー1人1人の顔を見る”コンテンツにしなないとだめだという方向性で作られている。とにかく、ラジオで得たノウハウをフル動員して作っていきたい」と語る。



東京、青山にある道場破りの居城。この少数精鋭体制で5000のコンテンツを切り盛りしているのだ。

この音声コンテンツのプロとしてのノウハウ、そして現在獲得中の“Vポータルにはどのようなコンテンツが適しているのか”を判断する目利き、そして5000以上のコンテンツ。これらが組み合わさったとき、コンテンツバンクはVポータルのなかでも、かなり強力な道場破りになると言っていじらう。



今日の道場破りから、コレを学びました!

自分たちでコンテンツを制作せず、既存のコンテンツをカスタマイズしてVポータルで展開していくというのは眼から鱗のアイデアだったのお。そう言えば、インプレスにはインターネットマガジンだけでなく、「インターネットウォッチ」や「できるシリーズ」など、デジタル、紙にかかわらずいろいろなコンテンツがあるではないか。それをVポータル用にカスタマイズすることはできんのか? インプレスが持っている既存のコンテンツはすべてVポータルでも聞けるということになったら、かなり強力なコンテンツ群ができると思うがのお。

いやいや全部ではダメだったのお。イ

ンプレスのコンテンツのなかでもVポータルに適したコンテンツを見極める“目”が必要なのじゃった。おい、「自分育てゲーム」に参加しているインターネットマガジンの編集部員どもよ、おぬしらにはVポータルコンテンツ制作の経験があるのじゃから、他部署のコンテンツでVポータルに適したものがいないかどうか探して来い!

それと、「質より量」が重要じゃとこの道場破りは言っておった。今は「自分育てゲーム」だけじゃから、もうダメ元でもなんでもいいから、違うコンテンツを考えるのじゃ! インターネットマガジン提供Vポータルコンテンツのラインナップを増やすぞ。



- 一、Vポータルに適したコンテンツを見極める“目”を養え
- 二、質より量! とにかく新しいコンテンツをそろえよ!

続々道場破り中!



今日現れた道場破りたち紹介!

新しいメディアVポータル。現在、このメディアに殴り込んでいるコンテンツプロバイダーが続々現れている。このコーナーでは今後続々と殴り込んでくる“道場破り”たちを紹介していくぞ。これからVポータルを盛り上げていくのはこの人たちだ!

[君津市子どもセンター]

「君津市子どもセンター」では子育て支援情報として子ども向けの良い本2冊と、「イザ」というときの悩みの相談先ダイヤル10本を案内するコンテンツを提供している。相談先ダイヤルはいじめや非行、しつけ、育児などさまざまな状況に合う相談先を知らせてくれる。

もともと「子どもセンター」ではウェブサイトで、このような情報を提供しているが「パソコンを使わなくても、電話をかけるだけで手軽にご利用いただけるのならとてもよい」(Vポータル担当者)という理由でVポ

ータルに参加したとのことだ。今後は、本を紹介する音声を、たとえば千葉の地元の言葉にするなどの工夫をして、声の楽しさに目を向けたコンテンツ作りをしていくそうだ。



私たちが作っています。
君津市子どもセンターはボランティアの手によって運営されているのだ!
URL <http://www5.ocn.ne.jp/~kpoketto/>

[有限会社シンプルライフ]

今日の夕飯はトンカツにすべきか、カレーにすべきか? こんな些細なことに迷い、時間をつぶしてしまった経験は誰にでもあるだろう。シンプルライフが提供する「センタクママ」は、そ

んな悩みを一発で解決してくれるコンテンツだ。使い方は簡単で、電話で「トンカツにすべきかカレーにすべきか」を、「センタクママ」に教えると「1の選択肢にしなさい」などと、ママが自分に代わって選択してくれる。

シンプルライフの代表嶋崎直之さんは、「Vポータルでコンテンツを提供するのなら生活に密着したものがいいと思ったのでこういうコンテンツにしました」とこのコンテンツを立ち上げた理由を説明してくれた。些細なことで迷ったら、すぐ「センタクママ」に相談だ。



私たちが作っています。
シンプルライフはホームページやビデオ、CDの製作会社だ。
URL <http://www.simplelife.to>

アグネス・チャンや花田勝が各地の評判の宿に泊まり、その宿の料金を当てていくというテレビ番組「お得な宿いっぱい。宿泊料金当てバトル」が高視聴率を稼ぎ出している。制作しているのはアイボールジャパンで、テレビ朝日の「日曜ワイド」枠(日曜3時半から5時半)で定期的に放送されている。この、高視聴率の一端を担っているのがVポータルなのだ。

この番組は、放送中にテロップでVポータルの電話番号が流され、そこに電話をかけると視聴者も料金当てバトルに参



私たちが作っています。
テレビ朝日の「日曜ワイド」枠で放送されている「宿泊料金当てバトル」の制作会社アイボールジャパンのスタッフ。

加できるのだ。放送中にVポータルにアクセスした人の数は10万人! これはテレビ放送などのメディアミックス展開がVポータルでは重要になることを証明している言っていじらう。



私たちが作っています。
開運研究家宇月田麻裕さんは長年の研究から「開運方法」を導き出している
URL <http://www.happiness-f.com/>

Vポータルコンテンツのなかでも高いアクセス回数を誇っているのが“占い”コンテンツ。なかでも特に人気の高い「テレフォンナンバー占い」「ラブラブタロット占い」を手がけている

のが、このハッピーネスファクトリーだ。この会社の代表は宇月田麻裕さん。占い関連の多数の著書で有名な人だけあって、その占いの内容も本格的だ。

「テレフォンナンバー占い」の使い方は、Vポータルにアクセスして、「テレフォンナンバー占い」を選び、自分の電話番号の下2ケタを入力すればいいだけ。これで相手との相性などが占える。「ラブラブタロット占い」は、78枚のカードの中から1枚をチョイスして、自分の運命だけでなく、相手が今何を思っているかを知ることでもできるぞ。

[株式会社アイボールジャパン]

[有限会社ハッピーネスファクトリー]



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp